

新たな道路の情報提供施策「とるば」

九州地方整備局 道路部 道路計画第二課 草野 裕一

1. はじめに

九州において観光は主要産業の一つであり、経済、雇用、地域活性化に大きな影響を及ぼすことから、道路行政においても観光に着目した各種事業、施策へ取り組んでいるところである。今後の道路整備においては、主要観光地への交通アクセス性の向上などのハード的な整備に加え、既存の道路をうまく使ってもらうための情報提供などのソフト的な施策についても検討を進めているところである。

ここでは、ソフト的な施策のうち、平成16年度より官民一体となって取り組んでいる施策「とるば」について、施策の概要、広報活動について紹介し、今後の展開について報告する。

2. 「とるば」施策の背景

九州には、やまなみハイウェイや雲仙、霧島などの山々、日南海岸や天草海岸など、美しい景観を有するスポットが多く存在する。これら観光資源を有効に活用することが地域の活性化やひいては観光産業の発展につながることから、九州地方整備局道路部では平成15年度より「九州の道路整備と観光交通に関する調査検討会」を立ち上げ、道路と観光の関わりについて検討を重ねてきた。

検討会での議論の中で、個々の観光スポットはもっぱら自動車交通に依存するところが多く、情報不足による観光（絶景）スポット周辺での迷惑駐車や迷走運転なども生じているのではないかとの意見も出された。そこで絶景スポットと駐車場をセットにした情報の提供の必要性、あり方などについて具体的に検討するため平成16年9月にとるば（フォトスポット&パーキング）研究会を立ち上げ検討を開始することとした。

3. 「とるば」研究会について

とるば研究会では、とるば情報の必要性を検討し、フォトスポットの概念や活用方法、情報提供の内容、方法等について意見を聞きながら、とるば施策を進めることとした。研究会のメンバーは、写真家、観光関連団体、観光雑誌や地図会社等この取り組みについて賛同頂いた方で、ボランティアにて参加して頂ける方のみで構成している。

なお、研究会は現在までに3回開催している。

表-1 九州の道路整備と観光交通に関する調査検討会 委員名簿

氏名	所属	役職
橋本 武	九州大学	名誉教授
佐藤 謙	熊本大学法学部	公共政策学科 教授
井原 健雄	北九州市立大学	大学院 社会システム研究科 教授
桑野 和泉	由布院玉ノ湯	社長
有村 佳子	指宿ロイヤルホテル	代表取締役社長
鶴田 修一	ハウステンボス㈱	管財人室 室長
岩切 道郎	宮崎交通㈱	取締役副社長
玉川 孝道	西日本新聞社	専務取締役 営業本部長
水嶋 修三	㈱JTB	九州営業本部 取締役本部長
石崎 仁志	九州運輸局	企画振興部長
橋本 博	九州地方整備局	道路部長

4. 「とるば」とは

「とるば」は素敵な景色が撮影できる場所（フォトスポット）と安全円滑に駐車できる近傍の駐車場（パーキング）情報を地域や旅行者などから投稿いただき行政職員と道守会員（後述）と一緒に確認の後、「とるば」スポットとして認定する。「とるば」情報は、インターネットや携帯端末で提供するとともに、道路や駐車場の管理者が整備する案内標識、案内板など、現地でも提供する。旅行者等に利活用いただくことで、迷惑駐車や迷走運転の抑止による渋滞や事故の防止、さらには地域の観光振興などに貢献しようとするものである。

なお、「とるば」は「撮る」「パーキング」の略称として命名したものである。（商標登録中）

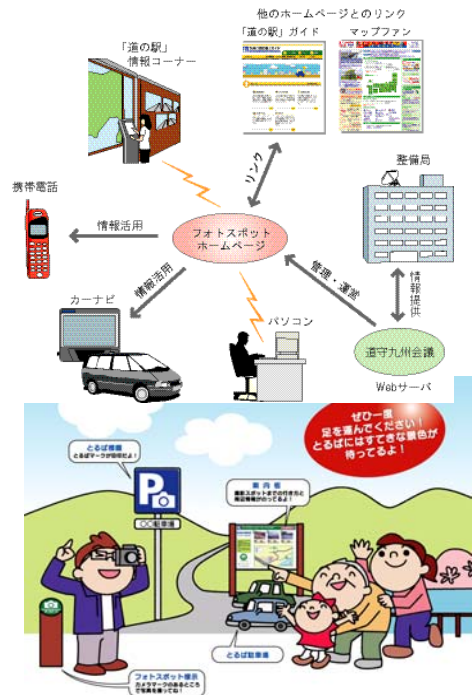


図-1 とるばのイメージ

5. とるば施策の実施主体について

九州では、道に関する様々な活動を行う方々が連携交流するネットワーク組織「道守九州会議」*が存在する。道の魅力をとおした地域づくりにも密接に関連するこのテーマについての九州地方整備局の呼びかけに道守九州会議が答え、共同事業として企画を進める運びとなった。道守九州会議ではとるばの評価、ホームページの管理・運営及び魅力スポットや駐車場の清掃・美化など、また九州地方整備局を中心とする行政機関ではとるば情報提供方法の企画や現地標識類の整備などを行い、広報活動や情報収集などは共同して行っている。

※道守九州会議とその概要

九州では道の清掃美化や育花樹、安全安心または円滑な道への調査実践、街道や祭りなど道の歴史や文化の発掘・継承・活用などの活動が各地で展開されている。このように道を舞台にあるいはテーマに様々な活動を行っている人々を「道守」と名付け、これら多くの道守が行政を含めネットワークし、交流・連携を深め道守活動の普及や市民意識への働きかけなどを行っていくと、平成16年2月に「道守九州会議」を発足し活動を展開している。（活動主体の一般会員約360団体等、約2万2千名、平成17年5月末現在）

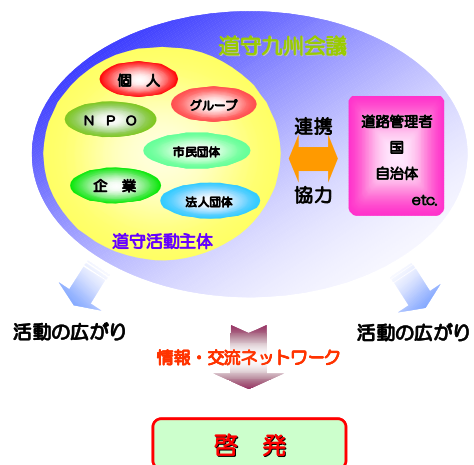


図-2 道守九州会議のイメージ

6. とるばの実施内容について

6. 1 ホームページを中心とした情報提供

- 平成 16 年 12 月 21 日にとるばホームページを開設。ホームページでは
- ・電子地図による「とるば」（フォトスポットと駐車場）の詳細な位置情報
- ・当該駐車場を拠点とする各フォトスポット写真の一括掲示
- ・撮影に適した時期・天候・時間帯などの情報
- ・撮影写真とその環境情報（時期・天候・時間・エピソードなど）
- ・とるば周辺のグルメ・宿泊・観光情報など



の情報提供と、「とるば」情報収集のための投稿受付、フォトコンテストの案内等を行っている。また、平成 17 年 4 月 22 日から携帯電話での情報提供を始めている。今後は、市販地図、カーナビでの情報提供も検討していく予定。



図-3 とるばホームページ

6. 2 現地標識類による情報提供

「とるば」には、駐車場を案内するための「とるば標識」、駐車場から撮影スポットまでを案内する「案内板」、撮影場所を案内する「フォトスポット標示」の 3 点セットを現地情報施設と位置づけ、道路管理者等により整備を行っている。6 月末現在、九州内に 31 箇所の標識類が設置されている。

〇現地標識類（とるば3点セット）



図-4 とるば3点セット



図-5 とるば整備箇所一覧

6. 3 とるばフォトコンテストの実施

「とるば」スポットの発掘と、「とるば」を広く一般の方に知ってもらうため、第 1 回「とるば」フォトコンテストを平成 16 年 12 月 21 日から平成 17 年 2 月 28 日まで開催した。九州



グランプリ・優秀賞作品

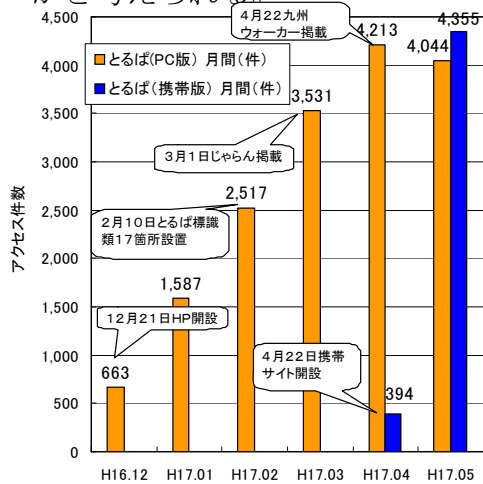
全体で620点(405駐車場)の多数の応募をいただき、その中から、グランプリ1点、優秀賞2点、特別賞5点を選出した。

第1回フォトコンテスト入賞一覧

賞の種類	氏名	県名	投稿写真タイトル
グランプリ	鳥越 栄次郎	大分	由布岳遠望
優秀賞	末森 文香	佐賀	夕日と棚田
	長 吉秀	大分	原尻の滝
特別賞	石津 幸次	熊本	氷の華(古閑の滝)
	福島町 産業経済課	長崎	土谷棚田の夕景
	外尾 英介	福岡	光るハイウェイ
	飯干 金光	宮崎	高千穂峡「真名井の滝」
	薩摩川内市役所 建設調整課	鹿児島	人形岩

6. 4 広報活動の効果

昨年度の「とるば」施策の開始から、現在までの期間で下表のとおり新聞記事にも多数掲載され、また、旅行関連雑誌のじゃらん九州や九州ウォーカー、leakでも取り上げられており、徐々にではあるが、知名度も上がってきているのではないかと考えられる。



「とるば」新聞掲載一覧と雑誌、新聞記事の紹介

7. 今後の展開及び課題

「とるば」をより多くの方々に知ってもらい、また、利用してもらえるよう、以下の事項を推進していくこととしている。

- ◆現地標識類の計画的な設置
- ◆ホームページや携帯サイトでの情報の充実
 - ・携帯電話での音声案内
 - ・人気ランキングやお勧めドライブコースなど付加情報の提供
- ◆カーナビや地図での情報提供

上記を推進するためには、道守九州会議との連携はもとより各県・市町村などの道路管理者との連携がより重要である。

8. さいごに

この施策は地域をアピールする情報ツールとして、また旅行者等への情報提供ツールとしても徐々に認知されつつある。これらの取組みが観光地での交通問題軽減と共に、九州の魅力の向上、ひいては観光振興などに広く貢献していくことを願いつつ、今後も取組みを推進していきたいと考えている。